

回覧



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成30年11月6日 第12号

校長 酒井 元治

絶好の行楽日和に修学旅行

10月31日から11月2日までの2泊3日で修学旅行に行ってきました。旅程は以下の通り。

31日(水)

佐賀県立宇宙科学館(武雄)～長崎平和公園・原爆資料館～長崎歴史文化博物館～長崎ホテル泊

1日(木)

長崎市内班別自主研修～島原城～雲仙災害記念館～雲仙地獄巡り～雲仙ホテル泊

2日(金)

～佐世保～小値賀

3日間天候にも恵まれ、たいした乗り物酔い等もなく無事に日程を終えることができました。子どもたちの一番の楽しみは、ホテルに泊まることと長崎市内での班別自主研修。この班別自主研修は、あらかじめ3～4人の班で、自分たちが行きたい場所を決め、予定を立てて回るというもの。



例えば、ある班の計画では、市内ホテル～龍馬像～亀山社中跡～眼鏡橋～出島～中華街～グラバー園～大浦天主堂といった感じです。この自主研修には、教師は同行しません。教師は、複数の班が予定している訪問地に待機し、安全確認や必要に応じてアドバイスをします。見ず知らずの土地で地図を見たり、人に聞いたり、路面電車に乗ったりしながら散策するといった、4時間程度のちょ

っとした冒険です。その時間内に自分たちで昼食をすませ、指定された集合場所に指定された時刻までに集まります。

後で子どもたちに聞いてみると、通行人に道を尋ねたり、逆に韓国の方(この方は日本語が話せたそうです。)に龍馬像の場所を聞かれ案内したりしたそうです。また、当初の計画通りいかず計画を変更する班や、自主研修でほとんどお金を遣い果たして昼食代に困った子どももいたとか。何事も計画通りにいかないのが人生です。大切なのは自分たちで切り抜けること、解決すること、うまく人に頼ること。

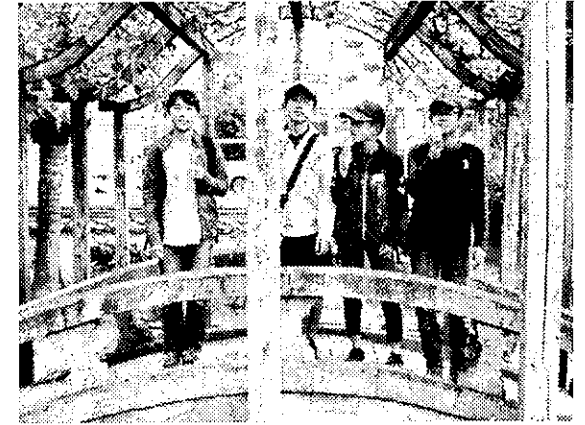
さらには、子どもたちにはそれぞれ役割が決まっています。ホテルの入所、退所のあいさつ、平和公園で小学校全児童が折った千羽鶴を捧げるときのミニ集会の司会やあいさつといったものです。それぞれのあいさつにはその場で考えるアドリブ的な内容も含まれます。夕食のあいさつも、ただ「いただきます。」だけではなく、その日の活動を振り返って感想を加えます。朝食では今日の活動で楽しみにしていることや抱負を加えます。中にはこのアドリブがうまく出てこない子もいます。そんな場面がホテルの退所式でもありました。ホテルの従業員を前にホテルでの感想を言うところでちょっと詰まってしまったのです。それでも、何も言わずじっと待っている子、ちょっと小声でアドバイスする子。しばらくして言葉が出てきたのですが、この子のあいさつが終わってのホテルの方の一言は、「皆さんの優しさと素直さがにじみ出てくるような温かさがありました。」とおっしゃってくださいました。

学校ではもちろんいつも接する仲間の前、保護者の皆さんの前、地域の皆さんの前で話をすることはあります。でも見ず知らずの人の前で、しかもアドリブで話をするという体験はほとんどありません。失敗したって、ちょっとぐらい躓いたって、うまく言葉が繋がらな



くったって、どうにか自分の言葉で言える、それが大切なことだと思うのです。そして、じっと待ってくれる友だちの温かさと待つことの大切さを体感するのです。

今年の6年生の仲の良さと温かさの中で、ちょっとしたチャレンジができた修学旅行でした。「値小だより」次号では、子どもたちの声で修学旅行を振り返ります。



5年宿泊学習を振り返って

今回は、宿泊学習直後の一言感想を掲載したのですが、小辻君の分の掲載忘れがありました。たいへん申し訳ありません。宿泊学習が終わってしばらくしてから、それぞれ感想をまとめました。ここに紹介します。

おどろき

5年 小辻 太郎

宿泊学習で、ぼくはおどろいたことがたくさんありました。その中で三つを紹介したいと思います。そのおどろきの中にも、これからの自分の生活に役立つことも学習できました。

一つ目は佐世保船舶工業を見学したことです。工場の大きさと働いている人の多さで、話して下さったことをメモできず、ただおどろいているばかりでした。それほどSSKでは大きさや広さが今まで見たことがないものばかりでした。その中でも覚えていることは、320トンの台車、250トンのクレーンの迫力です。250トンのクレーンは、造船中の船の上で大きな鉄の材料を軽々と運んでいました。それらの機械を使って大きなタンカーや船を造っていることがわかりました。写真撮影をしたタンカーは大きすぎて、なんだか自分がものすごく小さく感じました。

二つ目は沢登りです。小値賀には沢がないので、活動を楽しみにしていました。沢にたどり着くまでにずいぶんと歩きました。沢に入るとき水が冷たくておどろきました。慣れてくると冷たさも大丈夫だったけど、急に深いところになるとやっぱり冷たかったです。腰から下がずぶ濡れになりました。ゴールの手前に土管があり、そこもかなり深かったです。水に濡れてしまったので、沢を上がったからも身体が重く感じました。

三つ目は、佐世保水産センターです。小値賀では栽培する漁業はないので、とてもいい勉強になりました。カニ、ヒラス、カレイ、ウニ、クルマエビなどの稚魚がたくさん養殖されていて、これが海に放流されていづれ大きくなるんだなと思いました。

この2日間で学校では体験できないことを、たくさん体験することができてよかったです。めあての「考えて行動する」は守れていたかわからないけど、笑顔でいることが多かったので充実した学習ができました。



大島分校学習発表会&ミニレク

今週金曜日(9日)は大島分校の学習発表会&ミニレクリエーションです。分校は現在1年生=1名、2年生=2名、3年生=2名、4年生=1名、計6名の女子校です。この6名による学習発表会と地域の皆さんといっしょに身体を動かすミニレクリエーションです。

以前は、午前中が学習発表会、午後は大島地区あげてのミニ運動会だったのですが、島の方々のご年齢も若干高くなったことから、半日の日程で運動量もすれほどないレクリエーションとなりました。

例年、小値賀小本校からは1年生と4年生が参観させてもらい、自分たちもちょっとした出し物を披露しています。しかし、4年生は2学期に、前期遠足のお世話、人権学習会のお世話などもあり多忙。そのため、今年度から3年がこの大島分校の学習発表会&ミニレクに参加することにしています。しかし、いきなりそうしたのでは、今の4年生が分校の学習発表会を経験しないこととなりますので、今年に限っては例年行っていた1年生に加え、3・4年生が参加することにしました。来年度の4年生の参加はありません。

また、昨年度よりこども園の年長児が参観しており、1年生は2年続きということになります。この点は来年度どうするか考えていきたいと思っています。

なお、分校までおこしいただける保護者の皆様の、はまゆうの出発時刻等は以下の通りです。

往路

- 8:35 はまゆう定期便(笛吹港発)
3・4年児童(運賃無料) ご来賓 本校職員 保護者
(保護者の方はこの便にお乗りください。保護者の方の運賃は実費です。)
- 9:05 はまゆう臨時便(笛吹港発)
1年児童こども園児 いこいの家
(保護者の皆様はこちらには乗れません。)

復路

- 11:25 はまゆう臨時便(大島港発)
1年児童こども園児 いこいの家
(保護者の皆様はこちらには乗れません。)
- 12:05 はまゆう定期便(大島港発)
3・4年児童(運賃無料) ご来賓 本校職員 保護者
(保護者の方はこの便にお乗りください。保護者の方の運賃は実費です。)



人数確認の都合上、ご参観いただける保護者の方は担任までお知らせいただけると幸いです。